

2012 年度 防災教育チャレンジプラン

活動・予算計画書 (一般枠 応募企画書)

防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局 御中

記入日：2011 年 12 月 12 日

下記のとおり、応募します。

(全 6 ページ厳守)

プラン名	ぼうさい町の安全安心ぼうさい対策！		
	採択された場合、上記「プラン名」を 1 年間使用しますので、ご注意ください。		
応募金額	2	5	万円
	1 万円未満を切り捨てた金額を記入してください。 上限 30 万円です。(査定により減額される可能性があります)		
応募部門	()	A. 保育園・幼稚園の部	()
	(-)	C. 小学校高学年の部	(-)
	(-)	E. 高等学校の部	(-)
	B. 小学校低学年の部		D. 中学校の部
	F. 大学・一般の部		
	該当する部門に 印を付与してください。(複数選択可)		

応募団体名	ぼうさいプロジェクトチーム		
住所	〒999 - 9999		TEL 03 - 9999 - 9999
	東京都 区 1 - 1 - 2		FAX 03 - 9999 - 9999
	ビル3F		E-mail(*) cpinfo2865@bosai-study.net
団体代表者名	役職	代表	フリガナ ホウサイ タロウ
			氏名 防災 太郎
団体担当者名	役職	事務担当	フリガナ ホウサイ ジロウ
			氏名 防災 次郎

連絡先 1		連絡先 2	
メール受取者名(1)	防災 太郎	TEL	(-) 自宅 () 勤務先等
E-mail(1)	cpinfo2865@bosai-study.net		03 - 8888 - 8888
メール受取者名(2)	防災 次郎	携帯	() 個人 (-) 社用等
E-mail(2)	cpinfo2865@bosai-study.net		090 - 9999 - 9999
1 事務局からの御案内は、原則メールで配信いたします。電子メールの迷惑メール対策等でメール着信に御不安があり、上記 E-mail(*)を含め複数アドレスにメール配信希望の団体は、こちらに記入してください。		2 応募に関するお問合せをさせていただく場合があります。昼間、連絡のつく方の連絡先を記入してください。また、団体・勤務先・自宅の別が分かるよう記入してください。	

個人情報の取扱いについて

ご応募の際にご提供いただいた個人情報は、選考及び結果通知等に利用致します。
 詳細につきましては、ホームページ上のプライバシーポリシーをご覧ください。
 ご応募されたことをもって、本事務局のプライバシーポリシーに同意されたものとみなします。

1. 活動計画

対象	例) 実施者:高校生、交流相手等:	市内の小学生ほか一般住民
----	-------------------	--------------

市内の小学生および保護者

主な活動期間・回数	例) 2010年4月～12月の間、3回程度(内訳:講演会1回、イベント2回)
-----------	--

期間:2010年4月～2月まで

回数:団体として概ね1週間に1度の活動为目标、イベントの回数は、3回程度(内訳:参観1回、防災劇2回程度)

目的及び活動成果	箇条がきで簡潔にお書きください。
----------	------------------

【目的】

1. 家庭の防災意識と対策の現状、防災訓練等地域の取り組み状況を知る
2. 家庭および支援者にむけた防災対策の資料作成と紹介
3. 幼少期から「防災」についての知識を得る

【活動成果】

1. 具体的な幼児向け・小学生低学年向けの防災教育プログラム
 - ・支援者・教員等が参考となる資料
2. 地域を題材にした「防災」に関する幼児用仕掛け絵本
 - ・親子がともに考え、実行できる教材

期待される効果、今後の展開目標	箇条がきで簡潔にお書きください。
-----------------	------------------

【期待される効果】

1. 防災イベントの実施等において、学校や行政、地域関係者との連携により、地域ぐるみの防災意識の高揚
2. 作成した防災教育プログラムにより、幼児・小学生低学年に対する防災に関する知識の習得

【今後の展開目標】

1. 地域におけるゆるやかな連携、分担体制の構築により、継続して防災イベントを実施、発展させる
2. 児童に対する防災教育や地域での防災訓練等を継続的に実施することにより、一人ひとりが災害に強いまちづくりの担い手となり、地域全体の防災力を向上させる

特徴	これまでの取り組みと異なる「新たなチャレンジ」は何かを、具体的にお書きください。
----	--

親子で「防災」を考える教材の開発
行政主導でなく、地域住民が主体となる

「実施内容及びスケジュール」と「期待するサポート内容」の2項目を、1ページ以内でお書きください。

実施内容及びスケジュール

主な実施項目とその取り組み内容についてお書きください。

計画準備: 4～6月

協議、調整等: 7～8月

イベント開催運営: 9～11月

教材の作成: 12月～2月

最終報告: 2月中旬

左記は、あくまで例示です。

「プランの内容」欄は、判りやすく説明してください。

写真・図を挿入されても結構ですが、紙面スペースに御配慮ください。

また、写真・図を挿入された場合、ファイルサイズに御注意ください。

期待するサポート内容		下記、複数選択可	
()	活動全般に対するアドバイス	(-)	サポーター・協力者等の紹介
()	資料・教材等の情報提供、紹介	()	勉強会・シンポジウム等での講演、指導
(-)	フィールドワーク等における現地案内、活動指導	(-)	チャレンジプラン以外の取組紹介

上記選択肢の補足説明として、「期待するサポート内容」を具体的にお書きください。

具体的に、防災教育チャレンジプラン実行委員の 委員にアドバイスをいただきたいと考えています。

2. 予算計画

【収入の部】 活動全体の予算について、次の項目に従って記入してください。補助金および寄付金については、助成元・寄付元を明記してください。

【支出の部】 防災教育チャレンジプラン活動支援金から支出する金額と費目が判るように記入してください。活動支援金として計上可能な項目については、最終ページ「(参考)活動支援金について」を参照してください。

【収入の部】				単位:万円、小数第2位切り上げ、小数第1位止め	
項目	金額		備考		
自己資金	8	万円	当該団体負担金含む		
補助金	0	万円	助成団体名	特になし	
寄付金	5	万円	寄付団体名	NPO 団体	
その他	2	万円	広告収入など活動から生ずる全ての収入を計上(現在の見込額)		
防災教育チャレンジプラン活動支援金	25	万円	上限 30 万円です。(1 ページ目の記載額と同額のこと)		
<合計>	40	万円			

【支出の部】				単位:万円:小数第2位切上げ、小数第1位止め	
項目	金額		内容 (単価・数量などを含む)		
			防災教育チャレンジプラン活動支援金から支出予定額		
謝金	5	万円	5	万円	イベント講師謝金
交通・宿泊費	3	万円		万円	
会場費	7.5	万円	2.5	万円	イベント会場および備品等 (活動支援金は、備品部分のみ)
会議費		万円		万円	
通信運搬費		万円		万円	
印刷製本費	6	万円	4	万円	プラン普及印刷物
資料・材料費	15	万円	10	万円	防災教育コンテンツ(絵本)制作費
消耗品費	3.5	万円	3.5	万円	印刷時におけるインクおよび用紙代等
役務費		万円		万円	
保険料		万円		万円	
その他		万円		万円	
<合計>	40	万円	25	万円	

収入と支出の<合計>欄に、同額が記載されているかを確認してください。

本書類を基に審査を行います。実行委員会の決定により採択時、応募額(希望額)が減額される可能性があります。減額に応じて活動・予算計画の変更をお願いする場合があります。

採択後、本活動・予算計画を変更する場合は、事前に事務局へ相談してください。

本計画書(応募企画書)・初版から修正を行う場合は、変更部分が判るように、MS-Word 文書ファイル機能の「ツール」
「変更履歴の記録」をクリックして、修正履歴を表示した状態で、事務局に提出してください。

3. 現在までの防災教育に関する取組内容

<内容を簡潔に整理して御記入ください>

- 1 内容	下記項目より選択してください。実績が無い場合は、「取り組み無し」を選択してください。				
()	取り組み無し	当団体は、1998年より活動しておりますが、防災に関する取り組みはありません。			
(遊び・楽しみながらの防災)			下記、複数選択可		
(-)	防災かるた	(-)	防災クッキング	(-)	防災ゲーム
(-)	音楽(唄)	(-)	紙芝居	(-)	劇・寸劇
(災害を想定した訓練)					
(-)	避難訓練・防災訓練	(-)	応急担架・応急手当	(-)	消火訓練
(-)	避難所体験	(-)	非常食づくり・体験	(-)	児童引渡し訓練
(災害に強い地域を作る)					
(-)	防災マップ作成	(-)	図上演習(DIG)	(-)	義援金集め
(災害を疑似体験する)					
(-)	起震車	(-)	各種実験	(-)	フィールドワーク
(防災に役立つ資料づくり)					
(-)	標識づくり	(-)	ハンドブック作成	(-)	災害等記録集づくり
(防災に関する知識を深める)					
(-)	防災教育講話	(-)	分科会・ワークショップ	(-)	教員向け研修
(-)	ビデオ等視聴	(-)	被災者体験談聴講	(-)	意識調査
上記選択肢に当てはまらない場合は、下記に具体的にお書きください。					

特になし。

- 2 上記の連携先	具体的な連携先名についてお答えください。また、その団体の区分を選択してください。				
連携先名	防災に関する取り組みはありませんが、当団体は「NPO法人」と「市役所」と連携をとりながら、地域の活動に関わっています。				
(-)	学校・教育関係	(-)	同窓会組織	(-)	保護者・PTAの組織
(-)	地域組織	(-)	国・地方公共団体等	(-)	企業・産業関連の組合等
()	ボランティア団体 ・NPO法人・NGO等	(-)	職業・職能団体	(-)	学術組織、学会等
上記選択肢に当てはまらない場合は、下記に具体的にお書きください。					

特になし。

成果	簡条がきで簡潔にお書きください。
----	------------------

特になし。

今後の課題	簡条がきで簡潔にお書きください。
-------	------------------

1. 地域住民の防災意識と地域情報の把握状況を知る
2. 行政・地域の防災支援の実際を知る
3. 被災経験や防災対策の先行事例の検索
4. 地域の状況に即した防災対策の検討
5. 防災知識向上と防災対策の取り組み支援実施

4. 応募動機

<内容を簡潔に整理して御記入ください>

チャレンジプラン応募に至った経緯		下記、複数選択可	
()	募集リーフレットを見た	どこで:	市役所 部 課
(-)	知人の紹介	具体的に:	
()	ホームページを見た	()	メールマガジンを見た
		(-)	その他
上記選択肢以外に、「応募の一番のきっかけとなった活動背景等」を具体的にお書きください。			

1. 地震で災害がおきたため、支援者として対策が急務と感じた。
2. 行政主導を期待したいが、予算の問題から実現されなかった。

(参考)活動支援金について

活動支援金は「完了払い」となりますが、一般枠では実行委員会で承認された活動・予算計画書に記載されている活動支援金の総額 50% (税込) を上限として「前払金」を受け取ることができます。(前払金請求は、毎年 7 月中旬締切り、翌月中旬支払い予定)

なお、活動・予算計画書(応募企画書)には、認定証の発行予定日(毎年 4 月)から活動報告会(毎年 2 月)までの期間に使用予定の下記の項目について計上してください。

内容について不明点等ありましたら、事務局まで問い合わせてください。

【計上できる項目】

謝金	外部講師やアシスタント等、団体構成員以外の者に対する謝礼および旅費交通費。
交通・宿泊費	プラン実施の際の交通費および宿泊費の実費に相当する経費。
会場費	講演、会議等に使用した会場及び機材の実費に相当する経費。
会議費	外部の講師、指導者等との会議時の資料や簡素な茶菓代。
通信運搬費	資料送付の切手代、宅配便代等通信及び運搬に要する費用。
印刷製本費	プラン実施に必要な資料の印刷費。
資料・材料費	プラン実施に必要な資料・材料の購入費。
消耗品費	プラン実施に必要なコピー用紙、文具類等の購入費。
役員費	謝金以外の作業で、外部に依頼した人件費。

【計上できない主な事項】

パソコン等、汎用的な利用価値のある物品類。(データソフト、ハードディスク等)
「一式」等と一括りになった、単価や部数が不明確な領収書による支払い。
会議や宿泊時の飲食代。
実践団体の運営費、経常的・恒常的な活動経費への支払いとみなされるもの。
実践団体と同一人物が代表等を務める団体同士の支払い。
販売目的の成果物の作成費。
実践団体の構成員への謝金・人件費・お土産代。
実践団体の構成員のみによる会議の経費。(室料、茶菓代、お花代)
講師、担当実行委員へのお土産代。
日当等、実費以外の交通費・宿泊費。
中間報告会および活動報告会(最終報告会)発表者の交通費・宿泊費。(一般枠は別途支給)

出典：実践活動事務処理要領(平成 23 年 7 月版)

注意！ 防災教育チャレンジプランの支援を受けた費用で得た成果物(各種配布物、掲示物含む)を販売することは一切認めません。また、これら成果物には、必ず防災教育チャレンジプランのロゴを付与し、防災教育チャレンジプランの支援を得て制作している旨の記載をしていただきます。